

## 子どもの発するサインに敏感になるために 2020年度版

いじめチェックシート 記入年月日【20 年 月 日】【 】年【 】組 記入者【 】

### ① 子どもからのサイン

子どもたちの出すサインに気づき、その背景を理解しようとする姿勢が、いじめの防止、早期発見につながります。

授業に意欲をなくし、集中力がない児童がいる。	
休み時間や放課後、一人であることが多い児童がいる。	
休み時間や放課後、用もなく頻繁に保健室に行く子がいる。	
教育相談、日記、班ノートなどに不安や悩みを書いている子がいる。	
いつもおどおどしている子がいる。	
理由なく欠席、遅刻、早退が増えている子がいる。	
理由のはっきりしない打撲や傷跡のある子がいる。	
衣服が乱れたり、汚れていたり、破れたりしている子がいる。	
元気がなく、気持ちの落ち込んでいる子がいる。	
教員を避ける子がいる。	
グループから急に離れたり、交友関係が変化したりしている子がいる。	
常に人の言いなりになっている子がいる。	
一人離れて教室に入ってくる子がいる。	
椅子や机を乱されている子がいる。	
みんながやりたがらない仕事を常にしている子がいる。	
忘れ物が多くなったり、成績が急に下がりだした子がいる。	

### ② 学級集団からのサイン

いじめは日常多くの時間を過ごす集団の中で生じます。その集団の状況を見続けることで、いじめに発展する前に、その兆候に気づくことがあります。

休み時間などに固定した少人数のグループに分かれている。	
学級の子どもたちが特定の子どもの失敗や規則違反に敏感に反応する。	
給食時などの子どもたちの会話に、度を過ぎたふざけや、からかうような笑いが頻繁にみられる。	
授業中、特定の子が発言したら理由もなく笑われることがよくある。	
ニックネームやあだ名が偏って使用されている。	
子ども同士の会話で、言葉がきつくなる。	
まじめに取り組むことを冷やかすような雰囲気生まれている。	
学校のルールなどを守らない雰囲気ができている。	
係や当番決めの際に一方向的に決めてしまう雰囲気がある。	

◎当てはまる項目があっても、必ずいじめがあるとは限りません。しかし、これらのチェックポイントに留意して集団作りを進めることで、いじめに至る前に防止することができます。思いやりのある子ども同士の関係のなりたった学級集団づくりをすることが、未然防止につながります。

◎これらのサインはいじめ以外の問題に当てはまることもあります。

上記以外の気になる点をご記入ください。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
--

枠に収まらなければ、目印をつけて裏面にご記入ください。